

埼玉県比企郡にある小川町は小さな街ですが「武蔵の小京都」とも呼ばれています。今は小川町を通る国道にも県道にも立派なバイパスが造られました。私が子どもの頃は飯能方面から小川町に入る道は、槻川を渡るこの小さな橋(馬橋)しかありませんでした。今は交通量も減ったので、橋の上から槻川の美しい風景を眺められます。



これが完成した絵です



1、河畔の民家。夕日を浴びた壁の色はジョンブリアン(肌色)をうまく使います



2、少し古い感じの民家(或いは商家)は大切な存在なので丁寧に描きます



3、橋の手すり(欄干)とそれを囲む植物。植物が夕日を浴びる様子は非常に難しいです



4、高速道路の案内板、道路標識、自動車...これも絵の大切な部品です



5、長く落ちる欄干の影で沈みかけている夕日を表現します



6、右背後の樹木。あえて明るいサップグリーンをそのまま使いました